

2023年度楽季プログラムについて

東京都交響楽団 音楽監督 大野和士

都響会員の皆様、熱いファンの皆様、また音楽鑑賞教室で都響と出会う若い聴衆の方々のために、2023/24シーズンのプログラムをお知らせできますのをこの上ない喜びと感じております。

新しいプログラムには、未だこの3年間の難しい時期の影響が、プログラムの置き換えや、やっと出会える指揮者、ソリストの皆さんとの共演に見られますが、全体としては、新しい時代に向かっての始動を感じていただけるプログラムを並べましたので、心からお楽しみいただくと幸いです。

私が指揮を執る演奏会としては、都響音楽監督就任の際にも演奏した、マーラーの交響曲第7番(4/13定期B)をもって新シーズンの幕開けとします。宇宙的な規模を持ち、現実的な次元を遥かに超えたようなこの曲を再び演奏できることに大変意義を感じております。

また、2つめの定期(4/21定期A)では、都響のために書かれた「Tokyo Time」を含むターネジ《タイム・フライズ(Time Flies)》をようやく初演。エルガーの《エニグマ交響曲》との間には、2021年ジュネーブ国際音楽コンクール・チェロ部門で優勝した上野通明さんのソロで、コンクールのファイナルで演奏したルトスワフスキのチェロ協奏曲を演奏します。ソロとオーケストラの間に飛び散る激しい火花をとくとご覧あれ。

10月の定期(10/14定期C)では、ジェイムズ・デブリース(都響常任指揮者/在任2005年4月～2008年3月)没後10年の記念コンサートとして、マエストロが最後に都響を指揮したコンサート(2009年12月)でもソリストを務めたイザベル・ファウストが、曲目も同じシューマンのヴァイオリン協奏曲で登場。集中力とロマンに満ちたこの協奏曲を、マグヌス・リンドベルイがベートーヴェン生誕250年記念(2020年)の際に作った、ベートーヴェンのモチーフを散りばめた曲《アブセンス》とベートーヴェン第7番が包みます。

12月の定期(12/7定期A、12/8定期C)には、レーガー、ラフマニノフ生誕150年記念年なので、象徴派の画家ベックリンにまつわる作品を特集します。というところの方々が、ベックリンの絵からラフマニノフが作曲した《死の鳥》を思い浮かべるかと思いますが、今回は不吉な予感を想起させる絵画4作全てに作曲を施したレーガーの《ベックリンによる4つの音詩》を選び、ラフマニノフの方は、名ピアニストのニコライ・ルガンスキーを招き、彼(ラフマニノフ)の“青春の歌”とも言える、ピアノ協奏曲第1番をレーガーと組み合わせました。そして、若いラフマニノフと晩年のレーガーをシューマンの交響曲第4番が心優しく見つめます。

さて、都響の誇る指揮者陣も引き続き、魅力的なプログラムで大いに湧かせてくれることでしょう。

名匠エリアフ・インバルは、ショスタコーヴィチ第9番と、得意のバーンスタイン第3番《カディッシュ》(2/16定期B、2/17都響スペシャル)。そして特筆すべきは、彼が御年88歳にして、都響とマーラーの交響曲に戻ってきてくれます。まずは、第10番《ゲリク・クック補筆版》です(2/22定期C、2/23都響スペシャル)。“まずは”という言葉で、既に期待される方も多いと思いますが、今後の展開にどうか注目。

アラン・ギルバートは、ベルリン・フィル首席ホルン奏者のシュテファン・ドールとモーツァルトで共演します(7/19定期A、7/20都響スペシャル)。その後に彼と都響がどのようにアルプス(R.シュトラウス《アルプス交響曲》)を登っていくのかにも興味が湧きます。そのほか、世界的ピアニストのキリル・ゲルシュタインとラフマニノフのピアノ協奏曲第3番での共演(7/15プロムナード)も楽しみです。ベートーヴェンの第9番(12/24・25・26都響スペシャル「第九」)も指揮をしてくれることになりました。

都響は、2023年よりブルックナー生誕200年(2024年)に向けて連続上演を企画していますが、小泉和裕さんはブルックナーの第2番で登場(10/20定期B)。プロコフィエフの第5番(11/24定期A)も輝かしい演奏となることでしょう。

客演指揮者では、マルク・ミンコフスキが4年ぶりの登場、コロナ禍でキャンセル(2021年9月)となった待望のブルックナーの第5番(6/25定期C、6/26定期B)を指揮します。

ローレンス・レネスも都響との共演が増えてきました。前回(2021年9月)来日できなかったヴァイオリストのタベア・ツィンマーマンとたっぷり協奏曲を聴いていただいた後、ラフマニノフ(9/23定期C)とプロコフィエフの大曲(9/18プロムナード)を披露します。

サッサ・ゲッツェルは、先日新国立劇場で指揮したオペラ『ばらの騎士』(2022年4月)は名演でした。薫るような、コルンゴルトの《シンフォニエッタ》、人気ヴァイオリニストのネマニヤ・ラドロヴィチとの協奏曲(ベートーヴェン)の共演(9/8定期B)もお楽しみに。

また、アントニ・ヴィトのペンデレツキ、それに反田恭平さんとのラフマニノフ(12/19定期B)はお聴き逃しなく!

オスモ・ヴァンスカが指揮するプログラム(10/30定期A)を見ると、期待に胸が震えます。シベリウスの第5、6、7番。このプログラムを引き受けてくださり、心からの謝意を表したいと思います。

さらにジョン・アダムズの来日と指揮(1/18定期B、1/19定期A)は、音楽界の話題をさらうでしょう。私も彼の作品を多く指揮してまいりましたが、ご本人から手取り足取り教わったことを昨日のように覚えています。彼が彼の曲を指揮するというのをオーケストラも体験し、それを皆様のもとにお贈りできるのを本当に幸せに感じております。

都響の2023/24シーズンにどうかご期待くださいますよう、心からお願ひ申し上げます。



Subscription Concert A Series

定期演奏会 Aシリーズ
東京文化会館 (上野)
19:00開演*(全8回)
*9/3(日)のみ14時開演
2023 4.21(金) (第973回) 5.12(金) (第975回) 7.19(水) (第979回) 9.3(日)★この日のみ4時開演 (第980回) 10.30(月) (第985回) 11.24(金) (第987回) 12.7(木) (第988回) 2024 1.19(金) (第993回)

Subscription Concert B Series

定期演奏会 Bシリーズ
サントリーホール (六本木一丁目/溜池山王)
19:00開演(全8回)
2023 4.13(木) (第972回) 5.29(月) (第976回) 6.26(月) (第978回) 9.8(金) (第981回) 10.20(金) (第984回) 12.19(火) (第990回) 2024 1.18(木) (第992回) 2.16(金) (第994回)

Subscription Concert C Series

定期演奏会 Cシリーズ
東京芸術劇場 コンサートホール (池袋)
14:00開演(全8回)
2023 4.26(水)★平日昼 (第974回) 6.25(日) (第977回) 9.23(土・祝) (第982回) 10.14(土) (第983回) 11.12(日) (第986回) 12.8(金)★平日昼 (第989回) 2024 1.13(土) (第991回) 2.22(木)★平日昼 (第995回)

Promenade Concert

プロムナードコンサート
サントリーホール (六本木一丁目/溜池山王)
14:00開演(全5回)
2023 6.17(土) (No.402) 7.15(土) (No.403) 9.18(月・祝) (No.404) 12.2(土) (No.405) 2024 2.11(日) (No.406)
2023 7.14(日) 19:00 サントリーホール 2023/9/25(日) 14:00 東京文化会館
2024 2.17(土) 14:00 サントリーホール

※演奏出演者・曲目などが変更になる場合がございます。※楽季途中の場合を除き、チケットの変更・払い戻しはいたしません。※未詳券発行不可